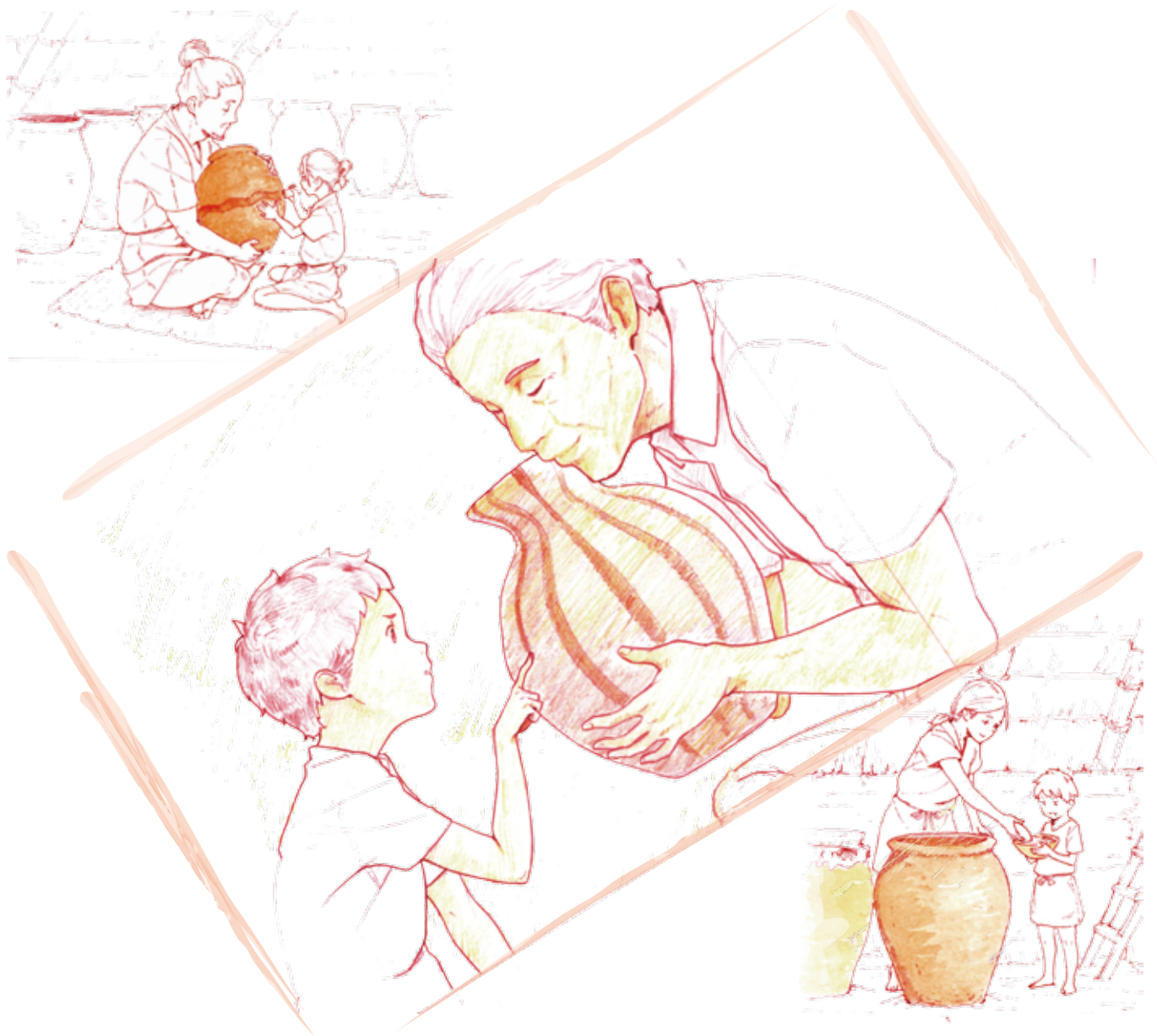


くまもとの赤

断層に顔をだした豊富な地球資源、火の山阿蘇と湧き出る清らかな水。そして人の情熱。そのすべてをぎゅっと詰め込んだ元気の源「くまもとの赤」い文化財をご紹介します。

阿蘇市・大津町・南阿蘇村・西原村の弥生時代の文化力



3月12日～4月17日 平日のみ開館 9:00～5:00
熊本県文化財資料室 熊本市南区城南町沈目 1667
☎ 0964-28-4933 九州沖縄から文化カプロジェクト / © 2010 熊本県くまモン

くまもとの赤



九州 山打から
文化力
POWER OF CULTURE

やよいじだい

弥生時代（約1800年前）の文化力

阿蘇市あそし

番出石棺ばんでせっかん



最初は古墳時代（約1600年前）の鏡を紹介するね。阿蘇外輪山の東入口にある古墳群（こふんぐん）の1号石棺から男性の人骨、刀、剣、豎櫛といっしょに発見された鏡だよ。

まっ赤なベンガラにくるまれるように、鏡が置かれていたんだって。

弥生時代も古墳時代もずっとずっと阿蘇の人々は、赤いベンガラを使いつづけていたんだね。

宮山遺跡 みややまいせき

阿蘇西小学校の校庭にもひろがる弥生時代（約1800年前）の大きな村。

赤い壺には縞模様（しまもよう）。あとのひとつは赤と黒にぬりわけたきれいでお洒落なデザイン壺だネ。宮山遺跡では、むかしの地割れ、地震の跡も発見されたんだ。地震は何度もおこるけど、阿蘇の人々はずっと阿蘇に住みつづけたんだね。



大津町 おおづまち 瀬田裏遺跡 せたうらいせき

瀬田裏遺跡は阿蘇カルデラの西入口、立野火口瀬をみまもる村だよ。

赤い縞模様デザインの鉢と壺。キリッとした形と赤いストライプ。

なんだか卒業式のお兄さん、お姉さんのように素敵だね。

こんな土器のことを「みやびなうつわ」っていうんだヨ。きっと…



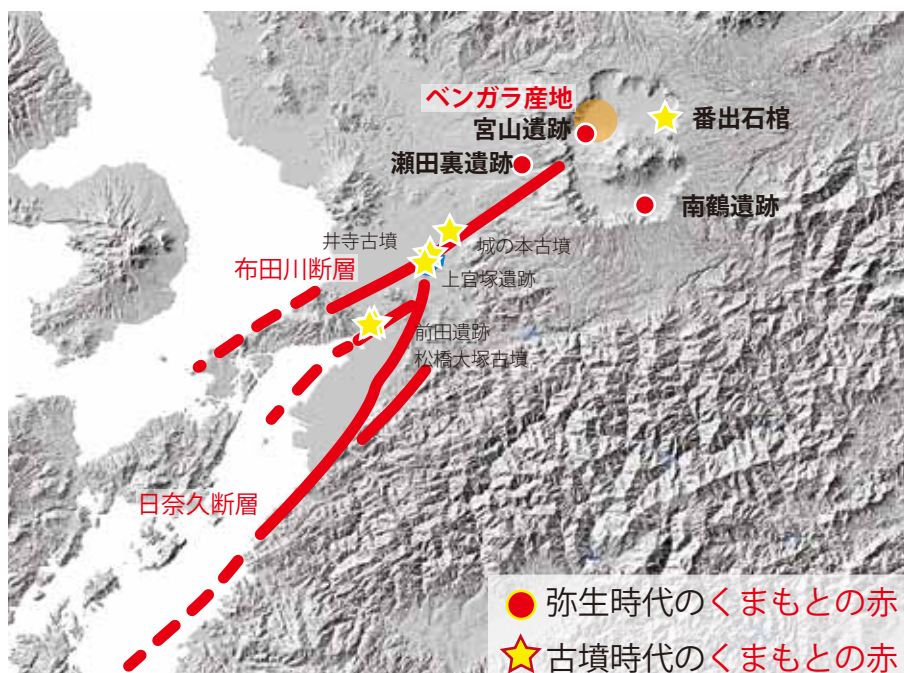
南阿蘇村 みなみあそむら

南鶴遺跡 みなみつるいせき

南郷谷の東端にひろがる大きな村だよ。
赤い壺や赤い甕は九州の東西南北から
あつまったデザインなんだ。
赤いベンガラも、明るさや塗りかたで
さまざまな表情を見せているね。
壺の口にえがかれた波形の模様は
赤地に白波が楽しそうにおどってる。
阿蘇の人々は広い世界の人々と
楽しくつきあいつづけたんだね。



断層から駆けだす！ くまもとの赤



弥生時代のくまもとの赤は
阿蘇カルデラの近くにあります、
古墳時代のくまもとの赤は
断層沿いにひろがってるヨ。
古い時代にはベンガラ産地
の近くに、新しい時代には
もっと広い範囲にくまもとの
赤い文化財が見つかるね。

ウーン!? ベンガラは断層を
とおってきたのかな？

むかしのくまもとの赤。
とっても元気な赤だね。

西原村 にしはらむら

古閑遺跡 こがいせき

熊本地震で被災した文化財を紹介しましょう。西原村生涯学習センター「山河の館」図書室では西原村から発見された文化財を展示しています。熊本地震がおきたとき、激震を二度も経験して古閑遺跡の文化財はこわれてしまいました。

でも見てください！
こわれた文化財も
なおせばホラ！
もとの形にもどります。



大津町 おおづまち

矢鉾遺跡 やほこいせき

大津町歴史文化伝承館に展示された矢鉾遺跡の甕棺（かめかん）も、熊本地震でコナゴナにこわれてしまいました。

